

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 868

2021年 7月11日

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail : jcpsagamiko@gmail.com

老後の満足度低下

自公政権は、日本の高齢者の暮らしにゆとりがあるかのように描き、75歳以上の医療費窓口負担2倍化など、社会保障改悪を進めています。

6月に閣議決定した「高齢社会白書」でも「60歳以上の8割超が現在の生活に満足している」と強調しています。しかし、「満足」とはほど遠いのが現実ではないでしょうか。

内閣府が発表している「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」によれば、経済的に日々のくらしに「困っている」との回答は日本だけ前回比で増加。「少し困っている」との合計でも日本は33・8%と断トツです。(グラフ参照)

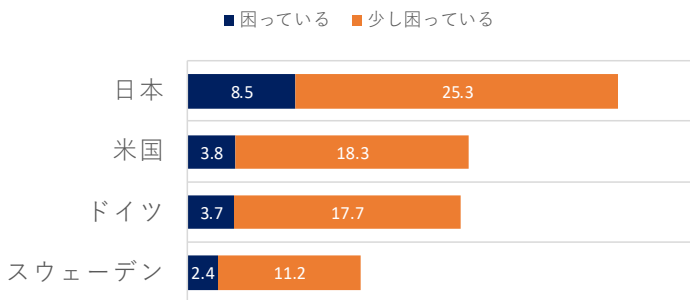
背景に低年金

背景には低年金による高齢者の貧困があります。日本の高齢者世帯の約4割が年間所得200万円未満。新型コロナウイルス危機以前、全体では減少

傾向にあった生活保護の受給者数・受給率も、65歳以上は一貫して増え続けてきました。

高齢者政策や支援で大切だと思ふもの(複数回答)は「介護・福祉サービス」「医療サービス」「公的年金」がいずれも約6割と上位を占めます。政治はこれらの要求に応える必要があります。

経済的な意味で日々の暮らしに困っていることの有無(%)



津久井やまゆり園事件

今年も「犠牲者をしのぶ会」が開催されます

事件発生から5年。相模湖地域を中心につくられた『共に生きる社会を考える会』は「こうした悲惨な事件を2度と起こさせない、風化させない、後生に伝える」ために、毎年「犠牲者をしのぶ会」を開催してきました。今年も事件の起きた7月26日に行われます。

なお人数制限がありますので、事前に予約いただければありがたいとのことです。

日時 7月26日(月)午後2時から

場所 相模湖総合事務所3階 大会議室

参加費:300円

◆当日の主な内容

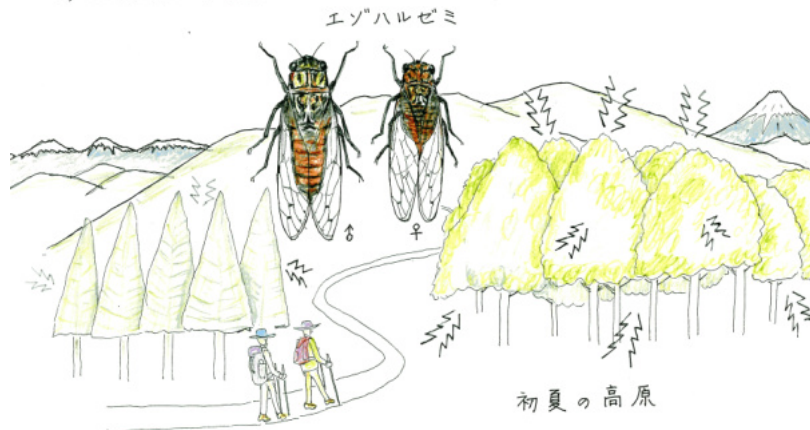
○ドキュメント映画＝津久井やまゆり園事件が問いかけたもの「生きるのに理由があるの？」の上映

○お話 映画を企画・制作された澤 則雄さん

〈連絡先〉042-684-3514 太田

昆虫シリーズ No. 1

1,000M以上のセミ



付いている種類は3種います。ハルゼミとエ

自然観察シリーズ
NO. 537
昆虫 [1]

ハルゼミ (春蟬)

半翅目 セミ科

今回から昆虫シリーズの始まりです。

日本に30種類いるセミのうち、ハルゼミと名が

ゾハルゼミとヒメハルゼミです。

去年の5月、藤野の里山を歩いていたら、頭上から「ムゼー・ムゼー」というハルゼミの声がしていました。山の尾根すじの松林で啼いているので、マツゼミとも云われます。高い幹の上なので姿は見られませんでした。

又、丁度今頃の季節6月から7月、標高が千M以上の山へ行くと、さわがしく啼いているセミがエゾハルゼミです。山登りをする人には初夏の山のおなじみの声で、天気が良いと一日中集団で「ミョーキンミョーキンケケケ」と啼いているのでうるさい位です。

セミはオスしか発音器が無いので、啼いているのはオスだけです。千Mから千七百M位の標高の所に生育していて、里のセミより早く山ではセミしぐれが聞かれます。

もう一つのヒメハルゼミは少ない種類で、生育地では集団でミンミンゼミのような声で啼くそうです。各地で天然記念物なっています。箱根の早雲寺が知られています。

次回もお楽しみに！

第43回 相模湖・ダム建設殉職者合同追悼会

日時：7月25日(日) 午前11時～午後3時
会場：相模湖交流センター
セレモニーや展示会などは中止。献花のみです

相模ダム工事の殉職・殉難者

日本人労働者	35
日本人勤労学徒	3
中国人労務者(捕虜)	28
朝鮮人(自由労働+強制連行)	(推定)17
合計	83人

お詫びとお知らせ

編集部員の急な都合で「明日の相模湖」の発行を休ませていただきました。大変申し訳ありませんでした。

また、これまで月2回の発行を続けてきましたが、これからは月1回の発行に変更させていただきます。なお自然観察シリーズは植物に代わって昆虫になります。引き続きご愛読をお願いします。